

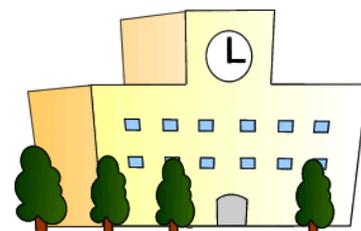
令和5年度 河内長野市立東中学校

学習のしおり



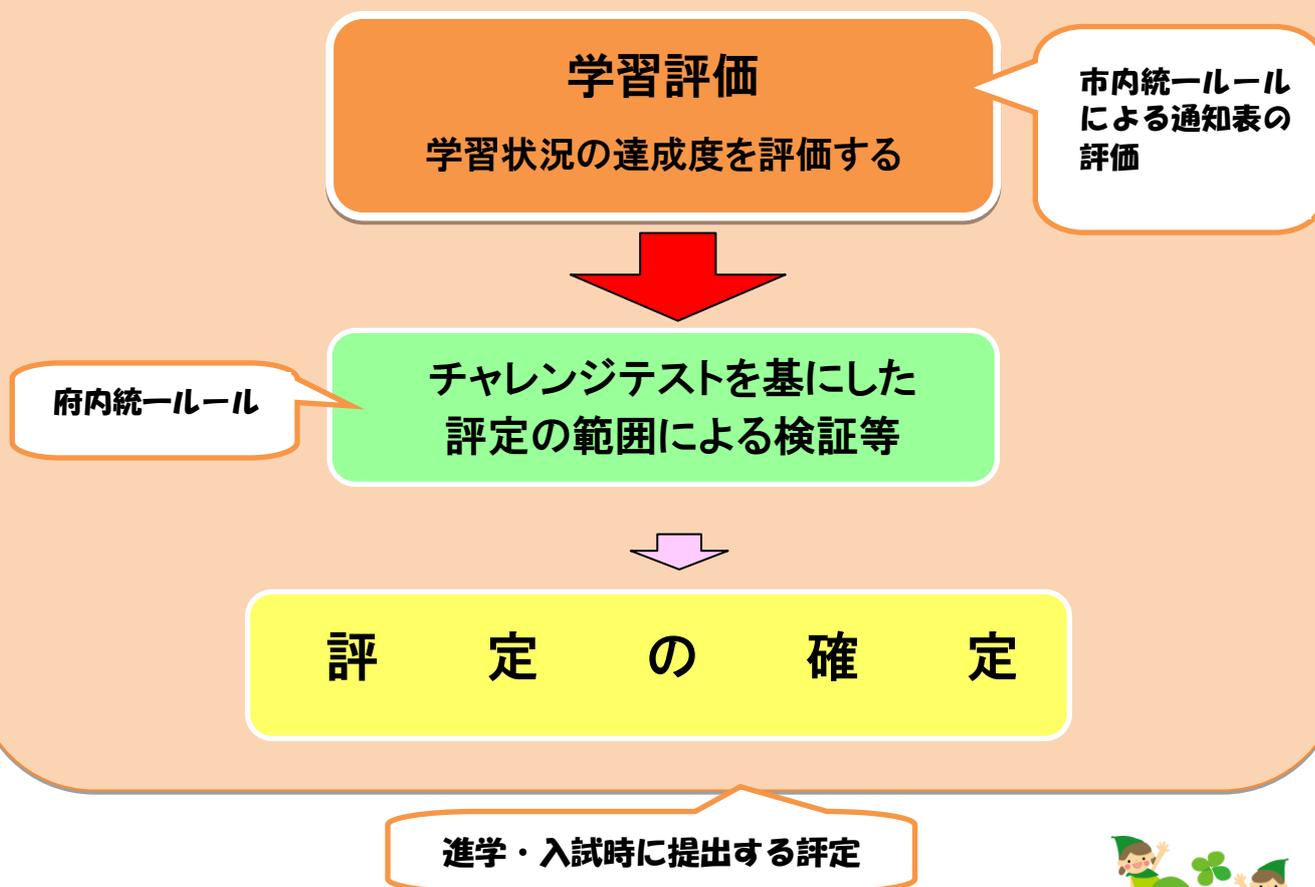
中学校の評価について

大阪府教育委員会は、平成28年度から、進学・入試時に提出する各教科の評定は、「目標に準拠した5段階の評価(いわゆる絶対評価)」と変更しました。本校も、学習指導要領(文部科学省が各教科や学年で学ぶべきことを示したもの)の目標をどの程度実現できたのか、その実現状況(達成率)を見る評価をおこなっています。



I 進学・入試時に提出する評定

それぞれの学校でつける評価がそのまま進学・入試時に活用されるわけではありません。各校で絶対評価による評定を付ける時に、出来るだけ公平性を期するため、大阪府教育委員会は、各中学校等が決定する進学・入試時に提出する評定について、**府内統一ルール**を定めています。



II 通知票に記載される観点別評価と評定

☆市内統一ルール

観点別評価（A・B・C）

- 【 A 】 十分達成できていると判断されるもの （＝目標の75％に達しているもの）
- 【 B 】 概ね達成できていると判断されるもの （＝目標の45％に達しているもの）
- 【 C 】 努力を要すると判断されるもの （＝目標の45％に達していないもの）

評 定（5段階）

- 【 5 】 十分達成できていると判断されるもののうち、特に程度が高いもの
（＝目標の85％に達しているもの）
- 【 4 】 十分達成できていると判断されるもの （＝目標の75％に達しているもの）
- 【 3 】 概ね達成できていると判断されるもの （＝目標の45％に達しているもの）
- 【 2 】 努力を要すると判断されるもの （＝目標の20％に達しているもの）
- 【 1 】 一層努力を必要すると判断されるもの （＝目標の20％に達していないもの）

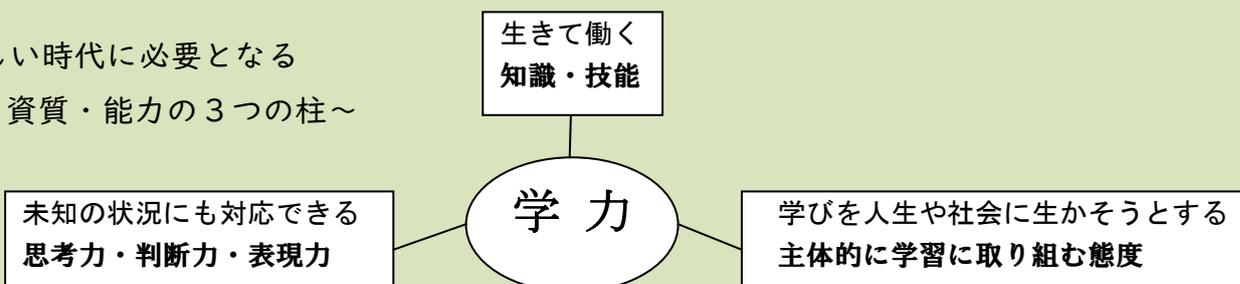
※通知票の1・2学期の欄にはその学期の評価が、3学期の欄には1年間を総合した評価が記載されます。

III 学力の3要素

どの教科でも「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を柱として評価をします。

<学力の3要素>

～新しい時代に必要となる
資質・能力の3つの柱～



国語科

1. 評価規準

- I 「知識・技能」：国語の知識が豊富で、適切に使うことができる。
- II 「思考・表現・判断」：自分の考えや気持ちを話し、相手の考えや気持ちを聞ける。
正しく書き、表現できる。正しく読み、内容を理解できる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物の内容・授業の取り組み			○
暗唱テスト・朗読・聞き取りテスト		○	
授業プリント（ノート）・作文・詩歌創作		○	
漢字小テスト、文法小テスト	○		
定期テスト・実力テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
教科書・ノート・漢字学習 資料集・かんたん文法 国語の学習（主に宿題）	教科書・国語ファイル・漢字学習 国語の学習（主に宿題）	教科書・ノート・漢字学習 かんたん文法・国語の学習 整理と対策・資料集

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

国語力の基礎は「語彙力（言葉^{ごいりよく}をどれだけ知って、使えているかの能力）」です。これを増やす一番の近道をお教えします。自分が知らない言葉を目にするときがあります。例えば、読んでいる物語に「怖気づく」という言葉が出てきたとします。（話の流れでなんとなく意味が分かったとしても）面倒くさがらずにその言葉の意味と、使い方（用法）を調べて、自分でも日常で使ってみるようにしましょう。

本を読む速度は遅くなりますが、語彙力は確実に育ちます。

「一語一語に興味を持ちながら、目指せ！！1ヶ月1冊」

5. 各学年の学習計画

	1年	2年	3年
4月	朝のリレー (2) 野原はうたう (3) 声を届ける (4)	見えないだけ (3) アイスプラネット (4) 漢字に親しもう1 (1)	世界はうつくしいと (4) 握手 (4) 書写 (2)
5月	シンシュン (5) 情報を整理して書こう (5) 漢字1 (1) 比較・分類 (2) 漢字の部首 (2)	文法① (6) 枕草子 (4) 熟語の構成 (1) 書写 (2) 問いをたてながら聞く (1) 思考の視覚化 (2)	学びて時にこれを習ふ (4) 作られた物語を超えて (4) 具体化・抽象化 (2) すいかは幾つ必要? (2) 書写 (2)
6月	ダイコンは大きな根 (5) ちょっと立ち止まって (5) 星の花が降る所に (3) 意見と根拠 (2)	クマゼミ増加の原因を探る (5) 短歌に親しむ (5) 言葉の力 (3) 類義語・対義語・多義語 (1) 思考のレッスン<具体と抽象> (3)	実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう (4) 俳句の可能性 (2) 俳句を味わう (2) 和語・漢語・外来語 (1) 書写 (2)
7月	文法 (2) 大人になれなかった弟 (6) 書写 (1) 詩の世界 (3) スピーチしよう (3)	文法② (3) メディアを比べよう (3) 字のない葉書 (4) 書写 (2) 漢字に親しもう2 (1) 読書を楽しもう (2)	書写 (2) 私の一冊を探しに行こう (1) 論理の展開を整える (1) 慣用句・ことわざ・故事成語 (1)
8月	読書感想文	読書感想文 人権作文	読書感想文 人権作文
9月	「言葉」をもつ、シジウカラ (4) 根拠を明確にして書こう (5) 文法Ⅱ (2) 聞き上手になる (2) 漢字・言葉2 (3)	モアイは語る (5) 盆土産 (5) 文法③ (3) 書写 (2)	挨拶 (2) 故郷 (6) 書写 (2)
10月	いろは歌・古典の世界・竹取物語 (9) 根拠を示す (2) ディスカッション (4)	平家物語 (5) 徒然草 (3) 漢詩 (3) 書写 (2) 敬語 (2) 漢字に親しもう3 (1)	人工知能との未来/人間と人工知能と創造性 (6) 多角的に分析して書こう (2) 書写 (2)
11月	不便を見つめ直す (4) 自分の文章を書く (2) 少年の日の思い出 (6) 今を生きる言葉 (2)	漢字に親しもう4 (1) 月夜の浜辺 (4) 君は「最後の晩餐」を知っているか (4) 鑑賞文 (2) 書写 (2) 根拠の吟味 (1)	初恋 (2) 和歌の世界/古今和歌集仮名序/君待つと (6) 夏草 (4) 書写 (2)
12月	考える人になろう (3) 読書案内 (1) 文法Ⅲ (4) 書写 (2)	漢字に親しもう5 (1) 同じ訓・同じ音を持つ漢字 (2) 文法④ (4) 書写 (2) 読書に親しむ (2)	誰かの代わりに (5) 情報を読み取って文章を書こう (2) ないの違いが分からない (1)
1月	構成を考えて書こう (4) 漢字に親しむ (2) 様々な表現技法 (3) 随筆二編 (2) 書写 (2)	走れメロス (6) 構成や展開を工夫して書こう (2) 書写 (2)	温かいスープ (3) わたしを束ねないで (2) 入試対策 (3) 書写 (1)
2月	坊ちゃん (2) 書体の特徴 (2) 構成や描写を工夫して書こう (4) 書写 (2)	話し言葉と書き言葉 (2) 木 (3) 送り仮名 (1) 書写 (2)	入試対策 (10)
3月	一年間を振り返る (5) 学習を振り返る (4)	文法⑤ (4) 敦盛の最期 (6) 書写 (2)	古文を中心とした中学校のまとめ (10)

社会科

1. 評価規準

- I 「知識・技能」：資料を適切に読み取ることができ、社会的事象についての知識があり、理解できる。
- II 「思考・判断・表現」：社会的な思考・判断ができ、論述できる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
授業の取り組みや提出物の内容など			○
授業中の作業や調べ学習など	○	○	○
定期テスト・実力テスト・チャレンジテスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物・・・下線部で示しているもの

- ・教科書・ノート・資料集・地図帳 はよく使用する教材です。
- ・定期的にまとまった量の宿題が出ます。特にテスト前が多く、問題集 はその際に提出することになります。
- ・プリントで学習する機会も多い教科です。プリントはきちんとファイルにとじたり、ノートにのりではって整理しましょう。
- ・色鉛筆 も作業などでよく使用します。ある程度の種類の色があれば便利です。

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

<家庭での学習5箇条>

- ①『教科書をくり返し読もう』：中学生が学ぶべき内容は教科書の内容が中心です。教科書をしっかり読み、その内容と流れをつかみましょう。
- ②『用語を整理しよう』：重要語句やキーワードを覚えましょう。
- ③『グラフ・図・地図などの資料に慣れよう』：様々な資料を読み取ることができるようになるのが社会科の技能の一つです。慣れてくると各資料から様々なことがわかるようになります。
- ④『ニュースに関心を持とう』：世の中の様々な出来事に関心を持とう。テレビの情報番組やクイズ番組、新聞や本などの書物、インターネットなどから学ぶこともたくさんあります。
- ⑤『復習を心がけよう』：中学校の社会科では「地理」「歴史」「公民」の三つの分野を学習します。各分野ともその内容は幅広く、テスト前だけ気合を入れて勉強しても手に負えません。定期的に行われる実力テストではいくつかの分野にまたがった問題が出題されることもあります。3年間学習を積み重ねる中で、時々過去の学習内容を振り返りましょう。

5. 各学年の学習計画

	1年		2年		3年	
4月	世界の姿(6)	歴史のとらえ方(3)	日本の姿(2)	戦乱から全国統一へ(5)	自由民権運動と国会開設(3) 帝国主義と日本(3) アジアの強国の光と影(3) 二度の世界大戦と日本(15) 現在に続く日本と世界(9) 私たちと現代社会(11) (並行学習)	
			世界と比べた日本の地域的特色(2)			
5月	日本の姿(6)	人類の登場から文明の発生へ(6)	九州地方のようす(8)	江戸幕府の成立と東アジア(4)		
6月	人々の生活と環境(9)			天下泰平の世の中(5)		
7月			東アジアの中の倭(6)	中国・四国地方のようす(8)		社会の変化と幕府の対策(4)
8月						個人の尊重と日本国憲法(17)
9月	アジア州(8)	中国にならった国家づくり(6)	近畿地方のようす(8)	欧米諸国における「近代化」(4)		国民主権と日本の政治(17)
10月	ヨーロッパ州(7)	展開する天皇・貴族の政治(4)	中部地方のようす(8)	開国と幕府の終わり(4)		私たちの生活と経済(23)
11月		武士の世の始まり(5)		新しい価値観の下で(4)		
12月	アフリカ州(5)	武家政権の内と外(4)	関東地方のようす(7)	近代国家への歩み(4)		私たちと国際社会(14)
1月	北アメリカ州(6)	人々の結びつきが強まる社会(6)	東北地方のようす(7)	帝国主義と日本(4)	私たちの課題(7)	
2月	南アメリカ州(5)	大航海によって結びつく世界(4)	北海道地方のようす(7)	アジアの強国の光と影(4)	総まとめ(18)	
3月	オセアニア州(4)	戦乱から全国統一へ(5)	身近な地域を調べてみよう(2)			

数学科

1. 評価規準

- I 「知識・技能」：数学的概念や性質についての知識があり、それらの性質や公式等を利用し、問題を解くことができる。
- II 「思考・判断・表現」：問題に対して、論理的に説明することができる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物・授業の取り組み	○	○	○
定期テスト・実力テスト・チャレンジテスト	○	○	
小テスト(しない学期もあり)	○	○	○

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
・教科書 ・コンパス ・レポート ・ファイル ・直定規 ・ダッシュ	・教科書 ・ファイル ・レポート ・のり ・ノート ・コンパス ・直定規 ・chromebook	・教科書 ・ノート ・コンパス ・直定規 ・整理と対策 ・レポート ・のり

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ・毎日数学の問題に触れることが大切！コツコツ積み上げることが地道だけど一番の近道！！
- ・問題をするときには、途中の式や考え方をきちんと書くクセをつけよう！
- ・文章問題や考える問題をなるべくたくさんやろう！諦めたら未来は切り拓けない！
- ・間違えた問題は、どこがダメだったのか“自分で見つける”“振り返る”“やり直す”ことが大事！参考になるのは教科書です！
- ・学習の最大の敵は何か？⇒それは「知っていると思っている自分」である！
- ・まずは数学に興味を持つこと。1つでもいいので、好きなところを探してみよう！

5. 各学年の学習計画

	1年	2年	3年
4月	算数から数学へ(2) 数の世界を広げよう(24)	文字式を使って説明しよう (15)	文字式を使って説明しよう (19)
5月	数の世界を広げよう 数学のことばを身につけよう(20)	文字式を使って説明しよう 方程式を利用して問題を解決しよう(15)	文字式を使って説明しよう 数の世界をさらにひろげよう (18)
6月	数学のことばを身につけよう	方程式を利用して問題を解決しよう(〃)	数の世界をさらにひろげよう
7月	数学のことばを身につけよう 未知の数の求め方を考えよう(19)	方程式を利用して問題を解決しよう(〃) 関数を利用して問題を解決しよう(18)	方程式を利用して問題を解決しよう(16)
8月			
9月	未知の数の求め方を考えよう 数量の関係を調べて問題を解決しよう(21)	関数を利用して問題を解決しよう(〃)	方程式を利用して問題を解決しよう 関数の世界をひろげよう (17)
10月	数量の関係を調べて問題を解決しよう(〃)	図形の性質の調べ方を考えよう(17)	関数の世界をひろげよう 形に着目して図形の性質を調べよう(23)
11月	数量の関係を調べて問題を解決しよう(〃) 平面図形の見方をひろげよう(21)	図形の性質の調べ方を考えよう(〃)	形に着目して図形の性質を調べよう 円の性質を見つけて証明しよう(10)
12月	平面図形の見方を広げよう(〃)	図形の性質を見つけて証明しよう(23)	三平方の定理を活用しよう (13) 集団全体の傾向を推測しよう (6)
1月	立体の見方を広げよう (21)	図形の性質を見つけて証明しよう(〃)	集団全体の傾向を推測しよう 入試問題演習(18)
2月	立体の見方を広げよう データを活用して判断しよう(12)	図形の性質を見つけて証明しよう(〃) 起こりやすさをとらえて説明しよう(11)	入試問題演習
3月	データを活用して判断しよう(〃)	起こりやすさをとらえて説明しよう(〃) データを比較して判断しよう (6)	入試問題演習

理科

1. 評価規準

- I 「技能・知識」： 技能、表現、まとめる力、理科的な知識、理解を持っている。
- II 「思考・判断・表現」： 理科的な考え方、発想力がある。見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察して判断することができる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」： 意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物・授業の取り組み・授業プリント			○
定期テスト	○	○	
実験レポート	○	○	○
小テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
教科書 ノート 授業プリント	教科書 ノート 授業プリント	教科書 ノート 授業プリント

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ① 「なんでだろう」 ⇒ 日常生活の色々な現象に疑問や興味を持つ。
- ② 「へえ～」 「なるほど」 ⇒ 納得するまで追求する。

※①で終わらず、②までやること！！

とくに・・・

- 実際に見たり、触ったりすることでより身近に感じながら勉強しよう！
- テストの点を上げるには、たくさん問題を解いて、気になる所はとことんやりましょう！
- 力を伸ばすためには、家庭学習（復習）も必ずやろう！

5. 各学年の学習計画

	1年	2年	3年
4月	自然の中にあふれる生命(9)	物質の成り立ち(11)	生物のふえ方と成長(9) 水溶液とイオン(8)
5月	植物の特徴と分類(9) 動物の特徴と分類(10)	物質の表し方(5) さまざまな化学変化(10)	遺伝の規則性と遺伝子(6) 生物の種類の多様性と進化(4)
6月	いろいろな物質とその性質(7)	化学変化と物質の質量(8)	電池とイオン(8)
7月		生物の体をつくるもの(6)	酸・アルカリと塩(10)
8月		植物の体のつくりとはたらき(11)	力の合成と分解(7)
9月	水溶液の性質(7) 物質のすがたとその変化(7)	動物の体のつくりとはたらき(14)	物体の運動(10) 地球から宇宙へ(5)
10月	光による現象(9) 音による現象(6)	動物の行動のしくみ(8)	仕事とエネルギー(8)
11月		地球を取り巻く大気の様子(5)	多様なエネルギーとその移り変わり(3) エネルギー資源とその利用(4)
		大気中の水の変化(8)	自然界のつり合い(5)
12月	力による現象(10)	天気の変化と大気の動き(6)	さまざまな物質の利用と人間(5) 地球から宇宙へ(5)
1月	身近な大地(5) ゆれる大地(6) 火をふく大地(7)	大気の動きと日本の四季(11)	太陽と恒星の動き(8)
2月		電流の性質(18)	月と金星の動きと見え方(5)
3月		電流の正体(9)	科学技術の発展(3) 人間と環境(8)
	語る大地(6)	電流と磁界(10)	持続可能な社会をめざして(4) 太陽と恒星の動き(9) 月と金星の動きと見え方(7)

英語科

1. 評価規準

- I 「知識・技能」： 英語で読んだり聞いたりして内容を理解できる。
- II 「思考・判断・表現」： 英語で自分の考えや気持ちを表現できる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」： 意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物、授業での取り組み			○
定期テスト	○	○	○
スピーチテスト、単語テスト	○	○	○
チャレンジ（暗唱）		○	○

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
<ul style="list-style-type: none">・教科書（Sunshine 1）・ファイル・フォニックスペンマン・新英語のワーク	<ul style="list-style-type: none">・教科書（Sunshine 2）・ファイル・英語パーフェクトノート・めきめき English・英語 Go!	<ul style="list-style-type: none">・教科書(Sunshine 3)・ファイル

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ①英語に毎日触れ、英語を聞く（歌でも可）。
- ②分からない単語は紙の辞書で引く。
- ③予習・復習をきちんとする。
- ④英語を声に出して読む。

5. 各学年の学習計画

	1年	2年	3年
4月	○Get Ready(3) ○Program 0 (1) ○アルファベットとローマ字(3) ○Phonics(3)	○Program 1 (12) (未来の表現、if, when) ・情報をつながながらメモをとろう ・英語のしくみ	○Program 1 (8) ・tell 人 to do ・It for to do ・that 節
5月	○Program 1 (9) ・be 動詞とその疑問文、否定文 ・文の書き方、数の言い方 ・簡単な会話表現(曜日、天候等) ・パフォーマンステスト(4)	○Program 2 (12) (接続詞、have to, must) ・天気予報を聞こう ・電話をかけよう	○Program 2 (8) ・間接疑問文 ○Program 3 (8)
6月	○Program 2 (9) ・一般動詞とその疑問文、否定文 ・疑問詞を使った疑問文と応答文 ○Program 3(5) ・助動詞 ○Our Project スピーチ(2)	○Program 3 (12) (不定詞、動名詞) ○Reading (Gon, the Little Fox) (8) ・いろいろな形容詞	○Listening&Speaking ・道案内(電車の乗り換え) (1) ○Program 3 ・第5文型、使役動詞 (8) ○Our Project (4)
7月	○Program 4(6) ・this と that を使った英文(4) ・パフォーマンステスト(4)	○Program 4(12) (比較級、最上級、as~as)	○Program 4 ・後置修飾 (7) ○Listening&Speaking (1)
8月			
9月	○Program 5(10) ・三人称単数現在の S ・季節・月の名前と順番・日付(2) ・簡単な会話表現(3人称について)(2)	○Program 5(12) (how to~, look+形容詞、主語+動物+人+もの) ・英語のしくみ ・レストランで食事をしよう	○Program 5(10) ・関係代名詞(主格)
10月	○Program 6(9) ・代名詞の使い方 ・疑問詞の疑問文と応答文 ○Program 7(6) There is / are ~	Program 6(12) (受身形) ・英語のしくみ	○Program 6 (8) ・関係代名詞(目的格)
11月	○My Project スピーチ(他己紹介)(3) ○Program 8 (8) ・現在進行形の文	・会話をつなげ、深めよう こんな人になりたい(12) ○Reading(Friendship beyond Time and Borders)(8)	○Our Project (4) ○Listening(1)
12月	○Program 9(10) ・過去形(規則・不規則動詞) ・パフォーマンステスト(4)	○Program 7(12) ・相手にわかりやすい説明をしよう ・空港アナウンスを聞こう”	○Program 7 (8) 仮定法 ○Reading (5)
1月	○Program 10 (3) ・物語の読み取り(2)	○Program 8(12) ・英語のしくみ ・説得力のある主張をしよう	○Special Project(6) /卒業に向けて、思いを伝える ○Further Reading (5)
2月	○Our Project スピーチ(私の選んだ一枚の写真)(4) ○ハガキの書き方(2) ○1年生の復習 (6)	・メールで近況報告をしよう(10) ○Reading(Visas of Hope)	○Further Reading (5) ○3年間の総まとめ (6)
3月	○1年生の復習(5) ○会話表現の復習(3) ○英文読解(4) ○パフォーマンステスト(4)	○この1年間で得た「宝もの」(10)	○3年間の総まとめ (4)

音楽科

1. 評価規準

- I 「知識・技能」：音楽的な知識を理解すると共に、工夫して歌や楽器の演奏技能が表現できる。
- II 「思考・判断・表現」：音楽表現力を身に着け工夫することで、考えや意図を持って取り組める。
音楽に対する考え方を深める。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、規律を守り、学習に取り組める。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
提出物の内容・授業の取り組み			○
歌唱・器楽における取り組み、表現の工夫	○	○	○
歌唱・器楽の実技テスト	○	○	
鑑賞における作業・プリント		○	○
定期テスト・実力テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
教科書 2冊 ファイル 2冊 資料集 アルトリコーダー 筆箱	教科書 3冊 ファイル 2冊 資料集 (アルトリコーダー) 筆箱	教科書 3冊 ファイル 2冊 資料集 (アルトリコーダー) 筆箱

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ・いろいろな音楽に親しみを持ち、豊かな情操を培う
- ・授業で大切だと思ったことは積極的にメモを取る
- ・苦手意識を持たずに、とりあえず挑戦してみる
- ・家庭でアルトリコーダーの練習をする

5. 各学年の学習計画

	1年	2年	3年
4月	歌声をつくり(5)	歌声つくり(3)	歌声つくり(3)
5月	曲想の変化を感じ取って 聴こう(2) アルトリコーダーに親しもう(3)	楽器の特徴をとらえ、曲想を 味わって聴く(2) クラシックギターに挑戦しよう (3)	音楽を通して総合芸術を理解しよ う(2) クラシックギターを親しもう(3)
6月	音符や記号を覚えよう(2)	曲のまとまりを感じ取って 合唱しよう(2)	作曲者の意図をとらえて 表現しよう(4)
7月	詩や曲に合った声作り(4)	表現に音符や必要な記号 を覚えよう(2)	表現に必要な音符や記号を 覚えよう(2)
8月			
9月	歌詞を感じ取り強弱の変化など 表現を工夫して表現しよう(11)	詩の内容と曲想の変化を感じ取 り、強弱の変化を工夫して表現し よう(11)	オペラをとおして 他の芸術との融合を感じ取る(2)
10月			詩の内容と曲想の変化を 感じ取り、強弱の変化を工夫し パートの役割を理解して表現しよ う(9)
11月	詩の内容と曲想の変化との関わり を感じ取ろう(2) アルトリコーダーのサミングに挑 戦しよう(3)	日本の伝統音楽を味わおう(1) 和楽器に親しみ、演奏しよう(4)	時代の背景と楽曲の特徴をとらえ て味わって聴く(2) クラシックギターを極めよう(3)
12月	日本民謡に親しみ、特徴を 感じ取ろう(3)		
1月	和楽器に親しみ、演奏しよう(5) 3年生を送る会を成功させよう (5)	管弦楽の豊かな響きや楽曲構成 の特徴を感じとって鑑賞する(2)	卒業式の歌を仕上げる(4) いろいろな楽器に親もう(1)
2月		3年生を送る会を成功させよう (5)	
3月			

美術科

1. 評価規準

I 「知識・技能」：造形的な視点を理解するとともに、表現方法を工夫し創造的に表す。

II 「思考・判断・表現」：表現の意図と工夫、美術の働きについて考え、構想を練る。

また、美術に対する見方、感じ方を深める。

III 「主体的に学習に取り組む態度」：創造活動の喜びを味わう。豊かな情操を養う。

2. 評価方法

評価の方法	評価の観点		
	I	II	III
評価の材料			
授業での様子、スケッチ、エスキース、ノート等の提出物	○	○	○
宿題、作品、プリント等	○	○	○
定期テスト	○		

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
教科書（美術1） 美術資料、 スケッチブック、 絵の具セット	教科書（美術2・3上下） 美術資料、 スケッチブック、 絵の具セット	教科書（美術2・3上下） 美術資料、 スケッチブック 絵の具セット

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ・何事にも「新鮮な気持ち」で臨む
- ・「試しにやってみる」挑戦
- ・「うまいヘタ」を意識しない

5. 各学年の学習計画

	1年	2年	3年
4月	オリエンテーション(2) 鑑賞(1) 素描(1)	オリエンテーション(1) 素描(1) 版画(1)	オリエンテーション(1) 素描(1) デザイン(1)
5月	彩色の基礎、実技(3) 色彩学習(2)	版画(4)	デザイン(3) 鑑賞(1)
6月	彩色の実技(4) モダンテクニック実技(1)	鑑賞(1) デザイン実技(3)	彫塑(3) 鑑賞(1)
7月	モダンテクニック実技(2) 鑑賞(1) 期末テスト(1)	デザイン実技(2) 期末テスト(1)	彫塑(2) 期末テスト(1)
8月	宿題	宿題	宿題
9月	モダンテクニック実技(3) 文字のデザイン基礎(2)	絵画(3) 鑑賞(1)	絵画(6) 鑑賞(1)
10月	文字のデザイン基礎、実技(4)	絵画(3)	
11月	文字のデザイン実技(4) 鑑賞(1)	鑑賞(1) 絵画(4) 期末テスト(1)	絵画(5) 期末テスト(1)
12月	文字のデザイン実技(2)、 期末テスト(1)		
1月	彫塑実技、基礎学習(3) 鑑賞(1)	彫塑(4) 学年末テスト(1)	鑑賞(1)、 デザイン(1) 学年末テスト(1)
2月	彫塑実技、基礎学習(3) 学年末テスト(1)		
3月	鑑賞(1)、彫塑実技(3)	デザイン(3)	デザイン(5)

保健体育科

1. 評価規準

I 「知識・技能」

体育：運動にかかわる一般原則や運動に関する安全について理解している。および、各種目に応じた基本的な技能や動きができる。

保健：個人生活における健康・安全について、理解しているとともに、基本的な技能を身につけている。

II 「思考・判断・表現」

体育：授業内で扱った運動について、自他の課題を発見し、問題解決の方法を工夫するとともに、その方法を実行したり、他者に伝えたりしている。

保健：授業内で扱った健康について、自他の課題を発見し、問題解決の方法を工夫するとともに、その方法を実行したり、他者に伝えたりしている。

III 「主体的に学習に取り組む態度」

体育：運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして主体的に運動している。

保健：健康の保持増進を目指して、明るく豊かな生活ができる。

2. 評価方法

評価の材料	評価の観点		
	I	II	III
授業の取り組み	○	○	○
提出物（授業プリント、ノート、課題）	○	○	○
実技（ゲーム、実技テスト）	○	○	○
定期テスト	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1年生	2年生	3年生
体育館シューズ 教科書、ファイル、 中学体育実技	体育館シューズ 教科書、ノート、ファイル 中学体育実技	体育館シューズ 教科書、ノート、ワーク 中学体育実技

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

- ◎ 運動を楽しむこと。 (上手・下手や結果ばかりを気にし過ぎず、運動を楽しむことが大切です。)
- ◎ ベストを尽くすこと。 (常に自分のもっている全力で取り組むことが成長につながります。)
- ◎ 継続して頑張ること。 (「継続は力なり」です。3年間続けると必ず大きな力がつきます。)
- ◎ 仲間と力を合わせること。 (社会性として大切な、自己の考えを伝える力や相手の感情を配慮できる力がつきます。)
- ◎ 挑戦すること。 (失敗は成功のもとです。失敗を恐れず、挑戦する気持ち、最後まであきらめない気持ちが必要です。)
- ◎ スポーツに興味を持つこと。 (スポーツには多様な関わり方があります。スポーツを『行うこと』『見ること』『支えること』『知ること』が大切です。)

5. 各学年の学習内容

	1年	2年	3年
4月	体づくり運動(7)	体づくり運動(7)	体づくり運動(7)
5月	男:柔道(9) 女:ハードル走(9)	男:柔道(9) 女:走り幅跳び(9)	男:長距離走(9) 女:長距離走(9)
6月	男:ハードル走(9) 女:なぎなた(9) 男女:体育理論(3)	男:走り幅跳び(9) 女:なぎなた(9) 男女:体育理論(3)	男:バスケットボール(9) 女:アルティメット(9) 男女:体育理論(3)
7月	水泳(11)	水泳(11)	水泳(11)
8月			
9月	ダンス(9)	ダンス(9)	ダンス(9)
10月	男:バレーボール(10) 女:サッカー(10)	男:バスケットボール(10) 女:ソフトボール(10)	男:走り高跳び(10) 女:バレーボール(10)
11月	男:長距離走(10) 女:マット運動(10)	男:長距離走(10) 女:跳び箱運動(10)	男:ソフトボール(10) 女:走り高跳び(10)
12月	男:マット運動(6) 女:長距離走(6)	男:跳び箱運動(6) 女:長距離走(6)	男:バレーボール(6) 女:サッカー(6)
1月	男:マット運動(5) 女:長距離走(5)	男:跳び箱運動(5) 女:長距離走(5)	男:バレーボール(5) 女:サッカー(5)
2月	男:サッカー(7) 女:バレーボール(7)	男:ソフトボール(7) 女:バスケットボール(7)	男:サッカー(7) 女:バドミントン(7)
3月	男:サッカー(3) 女:バレーボール(3)	男:ソフトボール(3) 女:バスケットボール(3)	男:サッカー(3) 女:バドミントン(3)

◎保健分野

	1年	2年	3年
内容	・健康な生活と病気の予防(6) ・心身の発達と心の健康(10)	・健康な生活と病気の予防(6) ・傷害の防止(10)	・健康な生活と病気の予防(10) ・健康と環境(6)

技術・家庭科

1. 評価規準

- I 「知識・技能」：技術・家庭に関する知識や概念を身につけ、作業の場面で技術を生かすことができる。
- II 「思考・判断・表現」：意見交換やふり返りをしながら、創意工夫して作業したり、人に伝えたりできる。
- III 「主体的に学習に取り組む態度」：意欲的に授業に参加し、生活で生ずる諸問題に興味や関心をもって考えながら取り組んでいる。

2. 評価方法

【技術】

【家庭】

評価の観点	評価の観点		
	I	II	III
評価の材料			
授業中の態度・発表・提出物など	○	○	○
作品や提出物など	○	○	○
テスト	○	○	

評価の観点	評価の観点		
	I	II	III
評価の材料			
授業中の態度・制作や活動への取り組みなど	○	○	○
提出物とその内容	○	○	○
テスト（定期・実技）	○	○	

3. 授業に必要な持ち物

1年生		2年生		3年生	
【技術】	【家庭】	【技術】	【家庭】	【技術】	【家庭】
・教科書 ・ノート	・教科書 ・ファイル ・タブレット	・教科書 ・ノート	・教科書 ・ファイル ・タブレット	・教科書 ・ワークブック	・教科書 ・ファイル ・タブレット

4. 教科の力を伸ばすためのポイント

【技術分野】

- ・身の回りにある物に興味を持ちましょう。
⇒その物は誰が、どのように作り、どのような工夫がされているか考える。
- ・授業で学ぶ知識や視点を、実生活に取り入れましょう。

【家庭分野】

- ・日頃からいろいろなお手伝いをしましょう。
- ・実生活でどのように活用できるかを考えるようにしましょう。
- ・自分の考えを自分の言葉で書くようにしましょう。
- ・学習したことを実生活の中で実践してみましょう。

5. 各学年の学習内容

	1年		2年		3年	
	技術科	家庭科	技術科	家庭科	技術科	家庭科
4月	ガイダンス ・技術って何だろう？(1) ・生活や社会と材料と加工の技術(1)	ガイダンス ・制服の手入れをしよう！(1) 家族・家庭生活 ・これまでの自分を振り返る(1) ・家庭生活を考える(1)	エネルギー変換 ・生活や社会とエネルギー変換の技術(2)	ガイダンス 衣生活 ・目的に応じた衣服の選択(3)	情報 ・情報セキュリティと情報モラル(1) ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決(1)	ガイダンス 消費生活・環境 ・家庭生活と消費(1)
5月	材料と加工 ・材料を利用するための技術1(4)	・家庭生活を考える(1) ・これまでの私とこれからの私について考える(2)	・エネルギー資源の利用(3) ・電気の利用1(1)	・衣服の文化を知る(3) ・上手な衣服の選択(1)	・双方向性のあるコンテンツによる問題解決(2)	・購入・支払いと生活情報(2)
6月	・材料を利用するための技術2(1) ・問題解決の流れ(2) ・製作のための技能(木材)(1)	食生活 ・食事の役割(2) ・中学生に必要な栄養(2)	・電気の利用2(2) ・運動の利用(2)	・日常着の手入れと保管(4)	・計測・制御による問題解決(2)	・消費者被害と消費者の自立(2)
7月	・製図(2)	・中学生に必要な栄養(2)	・エネルギー変換の技術による問題解決(1) ・これからのエネルギー変換の技術(1)	・日常着の手入れと保管(2)	・これからの情報の技術(1)	・消費生活と社会(1)
8月						
9月	・実習(木材)(4)	・様々な食品とその調理(4)	・実習(ラジオ)(4)	・実習(被服)(4)	・実習(生物育成)(1) ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決の実習1(1)	・実習(被服)(2)
10月	・実習(木材)(4)	・食事の計画(1) ・おいしさ調理(2) ・調理の基本、実習の計画(1)	実習(ラジオ)(2) 情報 ・生活や社会と情報の技術(2)	・実習(被服)(4)	・計測・制御による問題解決の実習1(2)	・実習(被服)(1) ・自立した食生活(1)
11月	・実習(木材)(4)	・実習(調理)(2) ・実習の計画(2)	・情報とコンピュータ(4)	・実習(被服)(4)	・計測・制御による問題解決の実習2(2)	・実習(調理)(2)

12月	・実習(木材)(3)	・実習(調理)(2) ・食文化(1)	・情報とコンピュータ(2)	・実習(被服)(1) ・持続可能な衣生活を 目指して(1)	・実習(生物育成)・計測・制御による問題解決の実習3(1)	・持続可能な社会を目指して(1)
1月	・これからの材料と加工の技術(1) 生物育成 ・生活や社会と生物育成の技術(1) ・さまざまな生物育成の技術1(1)	・食文化(2) ・生鮮食品と加工食品(1)	・情報とコンピュータ(2) ・情報の表現と伝達(2)	住生活 ・住まいのはたらき(2) ・安全な住まい(1)	・情報の表現と伝達の実習(2)	・持続可能な社会を目指して(1) ・これからの私を考える(1)
2月	・さまざまな生物育成の技術2(2) ・これからの生物育成の技術(1)	・生鮮食品と加工食品(2) ・食品の安全と情報(1)	・情報セキュリティと情報モラル(3)	・安全な住まい(3)	まとめ(1)	・まとめ(1)
3月	まとめ(2)	・持続可能な食生活を 目指して(1) ・まとめ(1)	まとめ(2)	・持続可能な住生活を めざして(1) ・まとめ(1)	まとめ(1)	・まとめ(1)